

園小中高連携一貫教育を基盤にして

10月中旬までは半袖半ズボン姿だった児童らが、ほんの2週間ほどの間に、アウターや手袋を身につけて登校するようになりました。先日は「3℃」の表示を目にしましたし、我が家ではすでに各部屋に暖房器具を設置しました。一気に季節が進んだようで、少し驚いています。山々の紅葉も進み、色鮮やかになってきました。短い期間になるかもしれない「千種の秋」をできるだけゆったりと満喫したいと思っています。

さて、本日11月1日（土）に第15回園小中高ふれあい文化祭を開催しました。保護者だけでなく、地域住民の方々にも多数ご来場いただきました。ありがとうございました。

町内には、こども園、小学校、中学校、高等学校が1校園ずつあり、共通のめざす子ども像を「学び合う子ども 認め合う子ども 鍛え合う子ども」とし、園小中高連携一貫教育を推進しています。その取組の中で、園小中高が合同で行う行事として、5月に一斉オープンスクールを、11月にふれあい文化祭を、12月にマラソン大会をそれぞれ実施しています。これらの行事は、子どもたちの頑張りを保護者や地域の皆様に披露させていただける貴重な機会となっています。

「千種で学び、育ちゆく子どもたち」は、保護者や地域の皆様方の温かい愛情を受けながら、自分たちの頑張りを皆様方に見ていただくことを励みに、日々努力と挑戦を重ねています。そんな中で子どもたちが「未来への種」をたくさんまいてくれることを願っています。そして、自己有用感や達成感をしっかりと身につけて欲しいと思います。これからも、園小中高が連携を深め、子どもの「育ち」と「学び」の連続性を重視した教育活動を地域とともに行う中で、一人一人の生きる力を育成していきたいと考えています。

保護者、地域の皆様には、これからもいろんな場面でご協力いただくことがたくさんあると思います。信頼され応援される学校にするために、教職員みんなで努力してまいります。子どもたちの健やかな成長のために、皆様のご理解とご支援をよろしくお願いします。

令和7年11月1日

千種学園

宍粟市立千種小学校長 上山 昌秀